2022年３月期　第２四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2021年10月29日

上場会社名	伊藤忠エネクス株式会社		上場取引所　東
コード番号	8133	ＵＲＬ　https://www.itcenex.com	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）岡田　賢二	
問合せ先責任者	（役職名）執行役員ＣＦＯ補佐（兼）財務経理部長	（氏名）井上　慎一郎	ＴＥＬ　03-4233-8008
四半期報告書提出予定日	2021年11月12日	配当支払開始予定日　2021年12月６日	

四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

１．2022年３月期第２四半期の連結業績（2021年４月１日～2021年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前四半期利益		四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年３月期第２四半期	398,130	24.6	9,139	△10.1	9,822	△6.2	6,882	△5.5	5,527	△11.3	6,698	△11.3
2021年３月期第２四半期	319,536	△27.2	10,163	6.7	10,472	8.2	7,283	12.6	6,234	20.2	7,547	20.0

	基本的１株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後１株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年３月期第２四半期	48.96	－
2021年３月期第２四半期	55.22	－

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	株主資本合計	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年３月期第２四半期	391,169	164,265	138,390	35.4
2021年３月期	408,327	161,399	136,233	33.4

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年３月期	－	22.00	－	28.00	50.00
2022年３月期	－	23.00			
2022年３月期（予想）			－	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2021年３月期期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 ６円00銭

３．2022年３月期の連結業績予想（2021年４月１日～2022年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前利益		当社株主に帰属する当期純利益		基本的１株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800,000	8.2	20,500	6.0	21,200	5.8	12,500	2.7	110.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　　　　　　　　：無

③　会計上の見積りの変更　　　　　　　　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年３月期２Ｑ	116,881,106株	2021年３月期	116,881,106株
②　期末自己株式数	2022年３月期２Ｑ	4,000,599株	2021年３月期	4,000,323株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2022年３月期２Ｑ	112,880,640株	2021年３月期２Ｑ	112,880,657株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 5
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 7
（１）要約四半期連結財政状態計算書 …… 7
（２）要約四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）要約四半期連結持分変動計算書 …… 11
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 12
（５）継続企業の前提に関する注記 …… 14
（６）セグメント情報 …… 14

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

①　当期の連結業績の概況

当第２四半期連結累計期間（2021年４月１日から2021年９月30日）における日本経済は、前第２四半期連結累計期間同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛や各自治体からの営業自粛要請等により個人消費が落ち込み、経済活動が停滞するという状況が続きました。経済活動の回復に向けた動きは鈍く、新型コロナウイルス感染症の感染者数が再び増加するなど、将来の見通しについては極めて不透明な状況が続いております。

当社グループとしての対応におきましては、社長を対策本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、全社的な対応方針並びに必要な施策の決定・遂行、継続的な情報収集と社内外への情報発信により、適切な全社マネジメントを行っております。また、「従業員の安全」、「感染防止」を最優先事項とし、在宅勤務や時差出勤の活用、事業所内における環境消毒を徹底し、感染リスクの低減を図るとともに、業務の遂行に必要な通信ネットワーク環境の整備を進め、業務効率化を図っております。

事業面におきましては、2021年４月に新たに策定しました２ヵ年の中期経営計画『SHIFT！2022』に基づき、事業を推進しております。

中期経営計画の概要

１．計画名称：SHIFT! 2022

２．期間　　：２ヵ年（2021年度～2022年度）

３．基本方針：『“基盤”“環境・エネルギー”“人材”』

「基盤」
- ・国内販売ネットワーク・顧客基盤の更なる充実
- ・ＤＸを活用しＢｔｏＣビジネスの積極推進
- ・アジアを中心とした海外事業の展開強化

「環境・エネルギー」
- ・環境商材をはじめ電力他多様なエネルギーで未開拓エリアへ進出
- ・再生可能エネルギーを中心に、発電から売電まで電力事業の更なる拡大
- ・環境技術力を高め、低炭素・脱炭素型商材拡充

「人材」
- ・国内外で活躍するマルチ人材の育成
- ・ダイバーシティ推進と多様な価値観の醸成

４．定量計画（2021年度）

「2021年度 連結業績目標」
- ①　当社株主に帰属する当期純利益：125億円
- ②　ＲＯＥ：9.0％以上

「経営指標」
- ①　実質営業キャッシュ・フロー（※１）：毎期300億円以上
- ②　連結配当性向：40％以上
- ③　新規投資額（２期累計）：600億円

（※１）実質営業キャッシュ・フローとは、営業活動によるキャッシュ・フローから運転資金等を除いたものです。

当第２四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	2020年度第２四半期 連結累計期間	2021年度第２四半期 連結累計期間	増減
売上収益	319,536	398,130	78,594
営業活動に係る利益	10,163	9,139	△1,024
当社株主に帰属する四半期純利益	6,234	5,527	△707

売上収益は3,981億３千万円（前年同期比24.6％の増加）となりました。これは主に、国内石油製品の原油価格上昇に伴う販売価格の上昇によるものです。

営業活動に係る利益は91億３千９百万円（前年同期比10.1％の減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は55億２千７百万円（前年同期比11.3％の減少）となりました。これは主に、新型コロナウイルス感染症による影響は前年同期に比べ縮小し販売数量は回復基調にある一方で、前年同期における原油価格の変動を捉えたオペレーションによる一過性収益の反動等があったことによるものです。

②　当期のセグメント別の概況

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

【ホームライフ事業】

（単位：百万円）

	2020年度第２四半期 連結累計期間	2021年度第２四半期 連結累計期間	増減
売上収益	30,210	34,686	4,476
営業活動に係る利益	39	386	347
当社株主に帰属する四半期純利益	15	556	541

当第２四半期連結累計期間におけるホームライフ事業部門は、ＬＰガス事業におきましては、新規顧客獲得活動や営業権買収活動の推進により、直売顧客軒数は約553,000軒（前期末比約1,000軒増加）となりました。ＬＰガス販売数量は、業務用、工業用において、新型コロナウイルス感染症による需要減から回復傾向にあるものの卸売やオートガスの販売数量が減少し、全体としては前年同期並みとなりました。

家庭向け電力販売事業は、ＬＰガスとのセット販売を中心に顧客基盤の拡大を推進し、顧客軒数は約114,000軒（前期末比5,000軒増加）となりました。

産業ガス販売事業は、窒素ガスにおきましては、前第２四半期連結累計期間の特需による反動から、販売数量は前年同期を下回ったものの、その他のガス種におきましては、供給先工場等の稼働率の回復に伴い、販売数量は前年同期を上回りました。

このような活動の結果、当第２四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上収益は346億８千６百万円（前年同期比14.8％の増加）となりました。これは主にＬＰガス輸入価格上昇による販売価格の上昇によるものです。

営業活動に係る利益は３億８千６百万円（前年同期比889.7％の増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は５億５千６百万円（前年同期は当社株主に帰属する四半期純利益１千５百万円）となりました。これは主に、経済活動再開に伴う、産業ガス関連事業や海外事業の復調とＬＰガス輸入価格上昇に伴う在庫影響等によるものです。

【カーライフ事業】

（単位：百万円）

	2020年度第２四半期 連結累計期間	2021年度第２四半期 連結累計期間	増減
売上収益	183,465	236,236	52,771
営業活動に係る利益	3,377	3,143	△234
当社株主に帰属する四半期純利益	1,904	1,566	△338

当第２四半期連結累計期間におけるカーライフ事業部門は、ＣＳ（※２）事業におきましては、ＣＳ数が前期末より15ヵ所減少し、1,672ヵ所となりました。石油製品の販売数量は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響と夏期の天候不良の影響があったものの、経済活動の再開により、大幅に落ち込んだ前年同期と比べガソリンや軽油の販売数量はやや持ち直し、前年同期をわずかに上回りました。

自動車関連事業におきましては、自動車ディーラー事業を行っている子会社の大阪カーライフグループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響があったものの、新型車等の販売回復により、販売台数は前年同期を上回りました。

このような活動の結果、当第２四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上収益は2,362億３千６百万円（前年同期比28.8％の増加）となりました。これは主に、国内石油製品の原油価格に連動した販売価格上昇と販売数量の増加によるものです。

営業活動に係る利益は31億４千３百万円（前年同期比6.9％の減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は15億６千６百万円（前年同期比17.8％の減少）となりました。これは主に、自動車ディーラー事業の回復があった一方でＣＳ事業の小売利幅が縮小したことによるものです。

（※２）ＣＳとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所です。

【産業ビジネス事業】

（単位：百万円）

	2020年度第２四半期 連結累計期間	2021年度第２四半期 連結累計期間	増減
売上収益	68,500	90,378	21,878
営業活動に係る利益	2,800	2,158	△642
当社株主に帰属する四半期純利益	2,268	1,505	△763

当第２四半期連結累計期間における産業ビジネス事業部門は、アスファルト販売事業におきましては、販売数量は減少したものの、収益性を意識した営業活動を行ってまいりました。船舶燃料販売事業におきましては、内航船向けでは、既存顧客の新規航路向け供給を拡大し販売数量は前年同期を上回ったものの、外航船向けの販売数量が減少したことから、数量は前年同期を下回りました。また、法人向け自動車用燃料給油カード販売事業におきましては、新規顧客獲得を継続的に積み重ねたことにより、販売数量は前年同期を上回りました。環境負荷低減事業として取り組んでいるAdBlue®（※３）販売事業においては、埼玉県にアドブルー製造工場を新設し出荷を開始しており、増加する需要に対し供給体制を整備することで、拡販できる体制を構築しております。また、ＧＴＬ燃料（※４）の販売事業につきましては、供給エリアの拡大、国内建設現場への採用が進むなど販売数量は堅調に増加しております。

このような活動の結果、当第２四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上収益は903億７千８百万円（前年同期比31.9％の増加）となりました。これは主に、産業用石油製品の原油価格の上昇に伴う販売単価の上昇によるものです。

営業活動に係る利益は21億５千８百万円（前年同期比22.9％の減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は15億５百万円（前年同期比33.6％の減少）となりました。これは主に、アスファルト事業が増益した一方で、前第２四半期連結累計期間における原油価格の変動を捉えたオペレーションによる一過性収益の反動等が大きく影響していることによるものです。

（※３）AdBlue®とは、ディーゼル車の排気ガスを分解して無害化する際に使われる世界標準の高品位尿素水。（®AdBlueはドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。）

（※４）Gas to Liquidsの略称。天然ガス由来の製品で、環境負荷の少ないクリーンな軽油代替燃料。

【電力・ユーティリティ事業】

（単位：百万円）

	2020年度第２四半期 連結累計期間	2021年度第２四半期 連結累計期間	増減
売上収益	37,361	36,830	△531
営業活動に係る利益	3,424	3,101	△323
当社株主に帰属する四半期純利益	1,763	1,738	△25

当第２四半期連結累計期間における電力・ユーティリティ事業部門は、電力事業のうち、高圧の販売数量（※５）におきましては、大型案件の獲得により前年同期を上回りました。低圧の販売数量におきましては、家庭向けを中心とした契約件数の増加が寄与し、前年同期を上回り、全体での小売電力販売量は前年同期を上回りました。

熱供給事業（※６）におきましては、今夏の平均気温が前年を大きく下回ったことにより、熱需要は前年同期を下回りました。

このような活動の結果、当第２四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上収益は368億３千万円（前年同期比1.4％の減少）となりました。これは主に、電力事業における九州電力との契約形態変更に伴う会計上の処理の影響によるものです。

営業活動に係る利益は31億１百万円（前年同期比9.4％の減少）となりました。これは主に、今夏の熱需要減少によるものと発電所の定期点検による稼働の低下によるものです。当社株主に帰属する四半期純利益は17億３千８百万円（前年同期比1.4％の減少）となりました。これは主に、持分法適用会社からの取込利益等が増加した一方で営業活動に係る利益が減少したことによるものです。

（※５）電力販売量は高圧・低圧共に取次数量を含みます。

（※６）熱供給事業とは、熱源プラントから複数の建物、オフィスビル等に、冷房・暖房等に使用する冷水・温水を導管で供給する事業です。

（２）財政状態に関する説明

【資産、負債及び資本の状況】

（単位：百万円）

	2021年３月末	2021年９月末	増減
資産合計	408,327	391,169	△17,158
負債合計	246,928	226,904	△20,024
資本合計	161,399	164,265	2,866

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して171億５千８百万円減少し、3,911億６千９百万円となりました。これは主に、季節要因による販売数量の減少により営業債権が115億６千９百万円減少したことによるものです。また負債合計は、前連結会計年度末と比較して200億２千４百万円減少し、2,269億４百万円となりました。これは主に、季節要因による仕入数量の減少により営業債務が111億５千８百万円減少したことによるものです。資本合計は、当社株主に帰属する四半期純利益による55億２千７百万円増加及び配当金支払いによる38億１千万円減少等により前連結会計年度末と比較して28億６千６百万円増加の1,642億６千５百万円となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症を考慮しつつも、コア事業から生みだされたキャッシュ・フローをもとに周辺事業の拡大・新たな事業領域への展開、並びに環境関連事業への投資を積極的に推進してまいります。

当面の資金調達余力につきましては、潤沢な現金及び現金同等物に加え、十分な当座貸越枠並びに社債（ＣＰ）発行枠を確保しております。また、これまでも健全な水準を維持してきたネットＤＥＲは△0.17倍となっており、実質無借金となっております。

（単位：百万円）

	2020年度第２四半期 連結累計期間	2021年度第２四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	22,104	18,113	△3,991
投資活動による キャッシュ・フロー	5,850	△2,641	△8,491
（フリー・キャッシュ・ フロー)	(27,954)	(15,472)	(△12,482)
財務活動による キャッシュ・フロー	△10,368	△9,506	862
現金及び現金同等物の増減 額	17,585	5,966	△11,619
為替相場の変動による現金 及び現金同等物への影響額	△20	△4	16
現金及び現金同等物の四半 期末残高	36,809	40,803	3,994

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して59億６千２百万円増加の408億３百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

（単位：百万円）

	2020年度第２四半期 連結累計期間	2021年度第２四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	22,104	18,113	△3,991
運転資金等の増減	5,084	△136	△5,220
実質営業キャッシュ・ フロー	17,020	18,249	1,229

営業活動の結果得られた資金は181億１千３百万円となりました。主な要因は、税引前四半期利益98億２千２百万円、減価償却費等101億２百万円、法人所得税の支払額43億６千３百万円によるものです。なお、獲得した資金は油価上昇等による債権債務の増減により前年同期比39億９千１百万円減少しております。また、実質営業キャッシュ・フローにつきましては前年同期比で12億２千９百万円増加しております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当社グループでは、これまでも投資戦略に基づき常に資本効率を意識した投資を進めております。

中期経営計画『SHIFT！2022』の２ヵ年においてはキャッシュを生み出す重要な収益基盤の維持・強化に300億円、再生可能エネルギー関連や環境対応ビジネス関連、海外事業等の成長投資に300億円、合計600億円の投資を計画しております。

投資活動に使用した資金は26億４千１百万円となりました。主な要因は、有形固定資産及び投資不動産の取得による支出51億１千４百万円、無形資産の取得による支出10億９百万円等に使用した一方、投資の売却及び償還による収入16億４千９百万円、子会社の売却による収入８億２千５百万円、有形固定資産及び投資不動産の売却による収入４億５千６百万円、その他７億４千３百万円等により資金が得られました。なお、使用した資金は前年同期比84億９千１百万円増加しております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当社グループでは、企業価値向上に向けグループ全体での財務活動の効率化を目指しております。グループ金融制度（※）の導入等によりグループ全体での財務マネジメントを強化した結果、財務活動による資金は95億６百万円の支出となりました。主な要因は、リース負債の返済による支出55億９千１百万円、当社株主への配当金の支払額31億６千４百万円、非支配持分への配当金の支払額６億４千６百万円によるものです。なお、使用した資金は前年同期比８億６千２百万円減少しております。

（※）グループ金融制度とはグループ間で資金を融通しあうことで資金管理・調達コストを効率化する制度です。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

区分	前連結会計年度末 (2021年３月31日)	当第２四半期連結会計期間末 (2021年９月30日)
（資産の部）		
流動資産		
現金及び現金同等物	34,841	40,803
営業債権	99,764	88,195
その他の短期金融資産	17,900	14,235
棚卸資産	25,495	25,357
未収法人所得税	3,055	636
前渡金	100	146
その他の流動資産	2,710	1,758
流動資産合計	183,865	171,130
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	29,437	28,751
その他の投資	4,246	4,035
投資以外の長期金融資産	10,330	9,676
有形固定資産	136,291	133,551
投資不動産	12,797	12,826
のれん	521	521
無形資産	19,688	19,671
繰延税金資産	9,728	9,045
その他の非流動資産	1,424	1,963
非流動資産合計	224,462	220,039
資産合計	408,327	391,169

（単位：百万円）

区分	前連結会計年度末 （2021年３月31日）	当第２四半期連結会計期間末 （2021年９月30日）
（負債及び資本の部）		
流動負債		
社債及び借入金（短期）	3,041	13,173
営業債務	102,768	91,610
リース負債	10,285	9,776
その他の短期金融負債	5,614	4,979
未払法人所得税	3,874	2,596
前受金	11,006	9,956
その他の流動負債	14,353	10,244
流動負債合計	150,941	142,334
非流動負債		
社債及び借入金（長期）	14,418	4,241
リース負債	50,499	48,411
その他の長期金融負債	14,425	14,465
退職給付に係る負債	9,925	10,763
繰延税金負債	1,001	1,128
引当金	5,465	5,302
その他の非流動負債	254	260
非流動負債合計	95,987	84,570
負債合計	246,928	226,904
資本		
資本金	19,878	19,878
資本剰余金	18,974	18,951
利益剰余金	99,829	102,231
その他の資本の構成要素	△576	△799
自己株式	△1,871	△1,871
株主資本合計	136,233	138,390
非支配持分	25,165	25,875
資本合計	161,399	164,265
負債及び資本合計	408,327	391,169

（２）要約四半期連結包括利益計算書

（単位：百万円）

区分	前第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2021年４月１日 至 2021年９月30日）
売上収益	319,536	398,130
売上原価	△277,415	△356,470
売上総利益	42,121	41,660
その他の収益及び費用		
販売費及び一般管理費	△31,947	△32,842
固定資産に係る損益	△83	△99
その他の損益	72	420
その他の収益及び費用合計	△31,958	△32,521
営業活動に係る利益	10,163	9,139
金融収益及び金融費用		
受取利息	25	16
受取配当金	465	86
支払利息	△549	△465
その他の金融損益	△76	△3
金融収益及び金融費用合計	△135	△366
持分法による投資損益	444	1,049
税引前四半期利益	10,472	9,822
法人所得税費用	△3,189	△2,940
四半期純利益	7,283	6,882
四半期純利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期純利益	6,234	5,527
非支配持分に帰属する四半期純利益	1,049	1,355
計	7,283	6,882

（単位：百万円）

区分	前第２四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年９月30日）
その他の包括利益（税効果控除後）		
純損益に振替えられることのない項目		
FVTOCI金融資産	155	45
持分法適用会社におけるその他の包括利益	11	38
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3	△2
キャッシュ・フロー・ヘッジ	22	13
持分法適用会社におけるその他の包括利益	79	△278
その他の包括利益（税効果控除後）計	264	△184
四半期包括利益	7,547	6,698
四半期包括利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期包括利益	6,498	5,343
非支配持分に帰属する四半期包括利益	1,049	1,355
計	7,547	6,698

（単位：円）

１株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		
基本的	55.22	48.96
希薄化後	―	―

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第２四半期連結累計期間（自　2020年４月１日　至　2020年９月30日）

（単位：百万円）

	株主資本						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	株主資本合計		
2020年４月１日残高	19,878	18,934	92,761	△1,370	△1,870	128,333	23,551	151,884
四半期純利益			6,234			6,234	1,049	7,283
その他の包括利益				264		264	0	264
四半期包括利益			6,234	264		6,498	1,049	7,547
所有者との取引額								
配当金			△2,599			△2,599	△675	△3,274
子会社持分の追加取得及び売却による増減						－	50	50
自己株式の取得及び処分					△0	△0		△0
株式に基づく報酬取引		△1			1	－		－
2020年９月30日残高	19,878	18,933	96,397	△1,105	△1,870	132,232	23,975	156,207

当第２四半期連結累計期間（自　2021年４月１日　至　2021年９月30日）

（単位：百万円）

	株主資本						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	株主資本合計		
2021年４月１日残高	19,878	18,974	99,829	△576	△1,871	136,233	25,165	161,399
四半期純利益			5,527			5,527	1,355	6,882
その他の包括利益				△184		△184	△0	△184
四半期包括利益			5,527	△184		5,343	1,355	6,698
所有者との取引額								
配当金			△3,164			△3,164	△646	△3,810
子会社持分の追加取得及び売却による増減		△23				△23		△23
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			39	△39		－		－
自己株式の取得及び処分					△0	△0		△0
2021年９月30日残高	19,878	18,951	102,231	△799	△1,871	138,390	25,875	164,265

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

区分	前第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2021年４月１日 至 2021年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	10,472	9,822
減価償却費等	10,084	10,102
固定資産に係る損益	83	99
金融収益及び金融費用	135	366
持分法による投資損益	△444	△1,049
営業債権の増減	16,485	11,615
棚卸資産の増減	△1,032	120
営業債務の増減	△10,953	△10,987
その他－純額	584	△884
配当金の受取額	1,599	656
利息の受取額	24	16
利息の支払額	△532	△455
法人所得税の支払額	△4,499	△4,363
法人所得税の還付額	98	3,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,104	18,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の取得による支出	△170	△266
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の売却及び償還による収入	299	1,649
子会社の取得による収入	11	－
子会社の売却による収入（売却時の現金保有額控除後）	－	825
貸付による支出	△462	△255
貸付金の回収による収入	511	313
有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	△5,440	△5,114
有形固定資産及び投資不動産の売却による収入	478	456
無形資産の取得による支出	△670	△1,009
無形資産の売却による収入	197	17
預け金の増減－純額	11,021	－
その他－純額	75	743
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,850	△2,641

（単位：百万円）

区分	前第２四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び借入金による調達額	10,000	50
社債及び借入金の返済額	△13,908	△517
リース負債の返済による支出	△5,768	△5,591
短期借入金の増減－純額	2,532	362
非支配持分からの払込による収入	50	－
当社株主への配当金の支払額	△2,599	△3,164
非支配持分への配当金の支払額	△675	△646
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,368	△9,506
現金及び現金同等物の増減額	17,585	5,966
現金及び現金同等物の期首残高	19,243	34,841
為替相場の変動による現金及び現金同等物への影響額	△20	△4
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,809	40,803

（５）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報

前第２四半期連結累計期間（自　2020年４月１日　至　2020年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	連結
	ホームライフ事業	カーライフ事業	産業ビジネス事業	電力・ユーティリティ事業	計		
売上収益							
外部顧客からの収益	30,210	183,465	68,500	37,361	319,536	－	319,536
セグメント間収益	2	2,275	2,604	1,925	6,806	△6,806	－
売上収益合計	30,212	185,740	71,104	39,286	326,342	△6,806	319,536
売上総利益	9,161	22,290	4,794	5,876	42,121	－	42,121
営業活動に係る利益	39	3,377	2,800	3,424	9,640	523	10,163
税引前四半期利益	244	3,161	3,258	3,362	10,025	447	10,472
当社株主に帰属する四半期純利益	15	1,904	2,268	1,763	5,950	284	6,234

その他の項目

資産合計	61,487	143,278	45,456	93,540	343,761	32,943	376,704

（注）セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。

当社株主に帰属する四半期純利益の調整額284百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。

資産合計の調整額32,943百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

当第２四半期連結累計期間（自　2021年４月１日　至　2021年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	連結
	ホームライフ事業	カーライフ事業	産業ビジネス事業	電力・ユーティリティ事業	計		
売上収益							
外部顧客からの収益	34,686	236,236	90,378	36,830	398,130	－	398,130
セグメント間収益	33	3,107	2,538	1,644	7,322	△7,322	－
売上収益合計	34,719	239,343	92,916	38,474	405,452	△7,322	398,130
売上総利益	9,610	22,067	4,563	5,420	41,660	－	41,660
営業活動に係る利益	386	3,143	2,158	3,101	8,788	351	9,139
税引前四半期利益	1,059	2,994	2,175	3,321	9,549	273	9,822
当社株主に帰属する四半期純利益	556	1,566	1,505	1,738	5,365	162	5,527

その他の項目

	ホームライフ事業	カーライフ事業	産業ビジネス事業	電力・ユーティリティ事業	計	調整額	連結
資産合計	67,103	144,448	57,221	84,778	353,550	37,619	391,169

（注）セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。
当社株主に帰属する四半期純利益の調整額162百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。
資産合計の調整額37,619百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

前連結会計年度末（2021年３月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	連結
	ホームライフ事業	カーライフ事業	産業ビジネス事業	電力・ユーティリティ事業	計		
資産合計	72,235	150,123	56,288	94,979	373,625	34,702	408,327

（注）資産合計の調整額34,702百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

前第４四半期連結会計期間において、当社の子会社であったエネクスオート株式会社を、同子会社である株式会社エネクスライフサービスが吸収合併したことに伴い、管理区分を見直し、従来「カーライフ事業部門」に含まれていたエネクスオート株式会社の事業を、「電力・ユーティリティ事業部門」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分により組替えて表示しております。